

# 通学課程の大学生における遠隔授業の理解度とモチベーションとの関連

川口 めぐみ\*, 大橋 恵\*, 井梅 由美子\*

## Relationship between Understanding and Motivation of Remote Learning in University Students

Megumi KAWAGUCHI\*, Megumi M. OHASHI\*, Yumiko IUME\*

In 2020, almost all universities students enrolled in on-campus programs started implementing remote learning due to the influence of COVID-19. Data were collected from 514 university students enrolled in on-campus programs (352 students in the Kanto area and 162 students in the Kansai area). Various aspects of their remote learning experiences were examined, including their understanding through remote learning; difficulty in maintaining self-motivation when learning on one's own. The results revealed a positive relationship between learning motivation and understanding, which implies that there is a need to examine the motivation level when providing and implementing remote learning lessons for students enrolled in on-campus programs.

キーワード：遠隔授業，モチベーション，理解度

### 1. はじめに

2020年度，多くの大学教育の新学期は，COVID-19の混乱とともに始まった。

大学や高等専門学校を対象とした全国調査によると<sup>(1)</sup>，2020年5月の時点でほぼすべての大学（90.0%）で遠隔授業が実施され，対面授業と遠隔授業の併用は6.8%，全面対面授業を実施しているのはわずか3.1%だった。

COVID-19の感染拡大前に大学ICT推進協議会<sup>(2)</sup>が行った全国調査によると，通学課程でインターネットを介した授業配信を実施している大学学部は16.5%（166学部），短期大学においては7.7%（23機関）だった。このようななか，2020年度は，COVID-19の影響によって大学教育は早急に遠隔授業へとシフトしていった。

Zhao, Lei, Laiら<sup>(3)</sup>は，1928年から1998年まで

の論文を対象に，遠隔授業と対面授業の効果についてメタ分析を行ったところ，効果に有意な差はなかったことを明らかにしている。しかし，中條・佐久間・宮川<sup>(4)</sup>が対面授業と遠隔授業に対する調査を大学生に行った結果，授業への満足度は遠隔授業を選択した学生の方が高かった。また，秋山・寺本・小蘭<sup>(5)</sup>は，2001年から2003年までの調査で，遠隔授業を選択した約80%の学生が，遠隔授業の方が対面授業よりも学習しやすいと回答したことを示している。しかし，どちらの調査も，遠隔授業と対面授業のどちらで学ぶかを学生自身が選択できており，その結果を評価したものであった。

文科省の全国調査によると，通信教育を実施している大学は44校で，正規課程学生数は208,549名にのぼる<sup>(6)</sup>。遠隔授業に適する者は通信課程を選択し，通学課程を選択する者の多くは，対面授業を期待し入学しているはずである。

\*東京未来大学（Tokyo Future University）

受付日：2022年9月5日；再受付日：2022年12月26日；採録日：2023年3月8日